

説明会での主な質問と回答

J R南武線連続立体交差事業 説明会

令和4年1月31日から町内会ごとに開催した説明会で、皆さまからいただいた質問のうち、代表的な質問と回答をお知らせします。

1. 用地取得はいつからか？

令和6年度の着手を目指しており、高架工事に必要なJ R南武線沿線は概ね5年で取得したいと考えています。

2. いつ完成するのか？

事業期間は約16年を見込んでおります。
なお、現在、令和6年度の事業着手を目指しております。

3. 都市計画決定から長年放置してきた矢向鹿島田線を整備する必要があるのか？

矢向鹿島田線は本市の南北地域を結ぶ重要な路線で、都市計画道路の見直しを行った際も広域的な道路ネットワーク上、必要な路線と判断しています。

なお、J R南武線の踏切と近接し、安全な通行が確保できないことから、これまで整備を進められない状況でしたが、この度の高架化による踏切の除却に合わせ整備を行うものです。

4. 矢向駅は高架化しないのか？

矢向駅は一部、横浜市域となるため、地上のままとしております。
なお、横浜市は尻手駅から矢向駅間を連続立体交差事業の候補区間と位置付

けており、本市としては横浜市に同時完成に向けた協力を求めています。

5. 用地取得はどこから行うのか？

高架工事に必要なJR南武線沿線の用地を優先して取得したいと考えています。

今後、施工計画を踏まえた具体的な用地取得のスケジュールを検討します。

6. 用地測量は改めて行うのか？

新たに計画線に掛かる用地は、来年度以降、境界確認や現地での測量をさせていただきますが、それ以外の用地は、昨年度までに行った用地測量を基に変更後の計画線を入れた図面を作成してお配りする予定です。

7. 移転先は市で探してもらえるのか？

基本的に地権者に移転先を確保するようお願いしています。

8. 土地はすべて買い取ってくれるのか？

原則として、事業に必要な範囲のみ取得させていただきます。

9. 土地の価格はどのようにして決定するのか？

事業着手後、周辺の土地の取引事例価格、公示価格、基準地価格、不動産鑑定評価書などを基にして適正に算定します。

10. 建物の一部が計画線にあたっているが、補償はどのようにになるか？

建物の残りの形状や構造などを考慮して、移転の方法を決定します。

仮に移転先に同種同程度の建物を建築することを想定した「構外再築工法」の場合は、建築に必要な費用を市の積算基準で算出し、建物の年数による価値の減少率を掛け、補償額を算出します。なお、この他に建物の解体費用や塀などの工作物、引っ越し費用なども補償します。

1 1. 提示された補償額に納得ができず交渉を長引かせた場合、補償額を上げてもらえる聞いたことあるが本当か？

補償額は本市の基準などに基づき適正に算出します。交渉をまとめるために補償額を上げることはありません。

1 2. 用地取得に応じないとどうなるか？

市が土地収用法に定める手続きによって土地を取得することもあります。基本的にはしっかりとご説明させていただいて、皆様のご理解とご協力のもと土地をお譲りいただいています。

1 3. このような小規模説明会は気軽に質問ができてよいので今後も継続してほしい。

職員が常駐して気軽に質問ができるオープンハウス型の説明会を毎年定期的
に開催したいと考えています。